

平成28年度 事業計画

I 基本方針

平成28年度は、『札幌勤労者職業福祉センター事業計画』の最終年度にあたります。このため、計画で定めた4つの重点方針（安心して働ける環境づくりの支援、地域に根ざした賑わいのある空間の創出、公益性の強化と健全経営の両立、環境にやさしい施設運営への転換）の充実を図り、札幌勤労者職業福祉センター（札幌サンプラザ）の安定した施設運営を行います。

II 札幌サンプラザが実施する各事業

1 勤労者福祉事業

(1) 労働・雇用関連事業

- 札幌市、労働局が主催、開催する労働・就業関連事業に引き続き協力します。
- 札幌市教育委員会、札幌商工会議所紹介のインターンシップ、並びに近隣小中学校、高等学校のインターンシップを受け入れ若年者の就労支援事業を引き続き行います。

(2) 地域活性化事業

- 地域活動支援事業
地元開催の夏祭り等イベントへの会場の提供、「24(にーよん)広場」の活用などに協力し、地域の活性化を支援します。
- 街づくり事業などの地域活性化支援
『食と花で街づくり』をテーマに街づくり活動をしているスローライフ事業の共催、協力により地域の事業を支援します。

(3) 地域文化、健康増進事業

- 地元主催のコンサート等に場を提供することにより、地域文化の向上に寄与します。
- 健康メニューの提供
レストランで、TFT（Table For Two）プログラム参加メニューとして北保健センターの協力を得、健康に配慮したメニュー『ヘルシーお膳』（約720Kcal）の提供、北保健センターの『おすすすめランチ』（低カロリーのヘルシーメニュー）を引き続き提供し、健康増進に寄与します。
※ Table For Two とは、1食につき、20円を寄付することで開発途上国の子供達に学校給食1食が提供される仕組み。

2 札幌サンプラザ運営事業

(1) プール

短期スクール、新規入会キャンペーンなどを実施し、利用拡大に努めます。また、旅行会、親睦パーティーの開催、短期スキー教室等を実施し、利用者の定着を図るとともに、水泳以外でも健康増進を図ります。

(84,000人の利用を見込みます。)

(2) ホール

オペラ公演の継続開催、地域イベントの共催・協力等、地域文化の向上に協力します。また観賞会等、学校で実施する行事の取り込みを積極的に実施します。

空き日の有効利用、並びに稼働率アップを目標として企画、販売している『練習プラン』の利用から本利用への移行も徐々に見られるようになってきたため、平成28年度においても積極的に販売します。

(220件、71,600人の利用を見込みます。)

(3) 文化教室

ホームページでの教室の紹介や広場でのチラシ配架などの周知活動を行い、受講者増及び教室の安定運営を図ります。

また、カルチャー祭（文化系教室）並びに発表会（舞踊、バレエ等）を継続して開催し、利用者の定着と増加に努めます。

(110教室、23,000人の利用を見込みます。)

(4) 広場

平成28年度においては、過去に利用実績のあった顧客向けのセールスに併せ、道内市町村へ物産展示会の会場として引き続きセールスを展開し、利用の拡大に努めます。

(5) 会議・研修

町内会等を対象とした施設見学会の販売促進、町内会の会合、各企業・団体で開催される会議などへのケータリングの受注増を図ります。

また、学会受注を目標に、事務局へのDMの発送、並びに電話によるセールス、エージェントへのセールスを実施し、受注拡大を図ります。

(2,500件、100,100人の利用を見込みます。)

(6) 宿泊

スポーツ大会出場チームなどの団体利用、文化系コンクール参加学校、音楽ホールなど館内他部門との連携強化などを行い利用増に努めます。

閑散期対策として、インターネット予約のチャンネル拡大により、外国人旅行者の取り込みを積極的に実施し、稼働率のアップ、並びに利用増を図ります。

(客室稼働率66.2%、20,000人の利用を見込みます。)

(7) レストラン

年間行事予定に加え、毎月のイベントカレンダーを作成し、顧客、並びに利用者へ周知を図り、利用増を目指します。

卓盛りコースの充実、北保健センターの協力を得て提供している『ヘルシーランチ』、TFTPプログラム参加メニューである『ヘルシーお膳』の充実を図り、引き続き健康に配慮したメニューを提供します。

平成28年度はオープン30周年を迎えるため、仮称『30周年感謝フェア』を開催し、地域をはじめ顧客へ向けた感謝フェアを開催します。

(104,500人の利用を見込みます。)

(8) 宴会

- 1件あたりの単価の減少、利用人数の縮小に歯止めがかかっていない状況にありますが、あまり外部環境の変化の影響を受けにくい、スポーツ、文化団体、文化系サークルの受注拡大を強化すると共に、大型の物件、エージェント契約の検討等により利用増に努めます。

調理技能の向上、並びに地産地消に着目した企画である『晩餐会』を年間1回開催します。

- 法要については、DMの発送を見直し、送付先に地下鉄沿線の地区を加えることにより利用増に努めます。

また、開催の都度、安定した受注実績のある法要内覧会を年間6回開催し、案内の配布を北区、東区から西区、手稲区、石狩地区へと拡大するとともに備品の充実を図り、受注増をはかります。

(1,495件、60,870人の利用を見込みます。)

(9) その他事業

- ESCO事業

契約期間の最終年度にあたるため、現ESCO事業の更なる充実を図るとともに、新たなESCO事業の展開に向けた、手法等の情報収集を行い、次年度以降のESCO事業の展開に備えます。

- エコキャップ運動への参加継続

北海道エコキャップ運動へ引き続き参加し、社会貢献運動、ゴミの削減、働く場の提供、難病支援活動を支援します。(平成27年12月：1,184.8kg)

3 広報活動

(1) ホームページの積極的な活用

各種イベント、フェア等のタイムリーな情報提供の強化に取り組み、アクセス数の増加を目指します。

(2) Facebookの活用

ホームページ同様広報の有効な手段と考えられるため、各種イベント、フェア等のタイムリーな情報提供の強化に取り組み、ホームページとは異なった年齢層のユーザーの獲得を目指します。